令和８年度　川崎市強度行動障害支援力向上研修
（強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】・【実践研修】）学則

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会

1．目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながる可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害を有する方の地域移行及び地域生活に向けた取り組みとして強度行動障害に係る支援手法の浸透や、適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした川崎市強度行動障害支援力向上研修（強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】）を実施します。

また、強度行動障害のある方に対して、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的とした川崎市強度行動障害支援力向上研修（強度行動障害支援者養成研修【実践研修】）を実施します。

２．研修事業の名称等

名　　称　　：川崎市強度行動障害支援力向上研修
（強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】・【実践研修】）

事業者指定番号：　第０００２号

３．研修実施場所

【基礎研修】・【実践研修】

名　　称：総合研修センター　研修室
所 在 地：〒２１０-００２４　川崎市川崎区日進町５－１川崎市複合福祉センター２階
電話番号：０４４－２２３－６５０９

４．研修期間

【基礎研修】令和８年度に５回実施します。

第１回　令和８年　５月２１日（木）・２２日（金）（２日間）

第２回　令和８年　８月２０日（木）・２１日（金）（２日間）

第３回　令和８年　９月１９日（土）・２６日（土）（２日間）

第４回　令和８年１０月２２日（木）・２３日（金）（２日間）

第５回　令和９年　１月２０日（水）・２１日（木）（２日間）

【実践研修】令和８年度に２回実施します。

第１回　令和８年　６月１８日（木）・１９日（金）（２日間）

第２回　令和８年１２月１２日（土）・１９日（土）（２日間）

５．研修カリキュラム及び講師氏名、演習計画（別紙参照）

６．受講資格

次の（１）から（３）の要件をすべて満たす者

（１）　川崎市内に所在する障害福祉サービス事業所等において、知的障害、精神障害のある児者を支援対象にした事業に従事する者、今後従事する予定のある者、若しく障害福祉サービス事業所等と連携し強度行動障害のある児童生徒の支援に当たる特別支援学校の教師等

（２）　２日間すべての日程を受講できる者であること

（３）　所属している法人の推薦を受けた者

（４）【実践研修】は強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を修了した者

７．受講手続（募集要項等）

ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわの「書式ライブラリー」→「３．川崎市からのお知らせ」→「１．川崎市からのお知らせ」に各回の募集要領（実施要領）を掲載し申し込み方法をお知らせします。申し込みは個人ではなく、所属する法人単位で申し込みをしていただきます。

８．受講者の決定

〇定員を上回った場合には、推薦された方の中から、法人内優先順位を勘案し、申込の内容を審査した上で決定します。（先着順ではありません。）

〇受講決定については、各法人あてに通知をまとめて送付します。

〇申込時に内容を偽って入力等した場合は、受講決定を取り消すことがあります。

９．受講定員

【基礎研修】各回５０名程度

【実践研修】各回５０名程度

１０．受講料

【基礎研修・実践研修】受講料は３，０００円です。支払方法等詳細は、受講決定とともにご案内します。

※会場までの交通費その他についても、受講者負担とします。

※お支払いいただいた受講料等は、いかなる理由があっても返金されません。

１１．使用テキスト　※テキストは受講者が各自用意してください。

強度行動障害のある人の「暮らし」を支える

（強度行動障害支援者養成研修【基礎研修・実践研修】テキスト）

発行：中央法規出版社

監修：特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク

編集：牛谷正人・肥後祥治・福島龍三郎

映像教材（会場で視聴）

ＤＶＤ強度行動障害のある人の「暮らし」を支える

（強度行動障害支援者養成研修【基礎研修・実践研修】教材

発行：中央法規出版株式会社

監修：特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク

制作：佐賀由彦事務所

１２．研修修了の認定方法

（１）公的機関発行の証明書等により受講者の本人確認を行い、全カリキュラムを受講した者に対して修了証明書を交付致します。なお本人確認方法については研修初日に下記の提示によって行います。

・運転免許証

・マイナンバーカード

・住民票の写し

・住民基本台帳カード

・在留カード等

・パスポート

・年金手帳

・生活保護受給証明書
・国家資格等を有する者については、免許証又は登録証等

（２）受講者がやむを得ない理由でカリキュラムの一部を受講しなかった場合は、補講の受講によって修了証明書を交付します。他の事業者が指定を受けた同一過程の研修において、該当科目を受講することで補講とします。その際は【基礎研修】は原則１ヶ月以内、やむ得ない場合２ヶ月以内に受講することとし、【実践研修】は原則２ヶ月以内、やむを得ない場合は４ヶ月以内に受講することとします。補講を受講した際には、別途受講料が発生する場合があります。

１３．個人情報の取り扱いについて

〇研修を通して知り得た個人情報は、当該研修業務の運営以外に使用されることはありません。

〇本研修の修了者は、強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】【実践研修】の修了者名簿（修了証書番号、氏名、生年月日、所属等）として神奈川県に報告します。

１４．その他

〇遅刻及び早退は欠席とみなします。修了証書を交付できませんので、ご注意ください。通勤時間帯による混雑や天候等をご配慮の上、余裕を持ってご来場ください。
※遅刻は原則、遅れた時間の長さを問わず欠席としますので時間を厳守ください。

〇著しく受講態度が悪く（私語、居眠り、携帯電話の使用等）、他の受講者の学習を妨げる行為があった場合には、所属機関への報告、会場からの退室や受講中止の措置をとることがありますので、ご承知おきください。（その際には、修了証書の交付はできません。）

〇本研修では研修の受講する上で合理的配慮が必要な方に対し、研修の実施及び、他の受講生の学習に支障をきたさない範囲で対応をさせていただきます。受講にあたって手話通訳、点訳教材等を必要とする方や人員や専門性を要する直接の配慮を必要とする方は、必ず受講申込フォームの「研修を受講する際に必要な配慮」に必要事項をご記入ください。なお、ご相談やご不明な点等ございましたら別途総合研修センター事務局までご連絡ください。
※申込みの際の記入や事前の相談がない場合は対応できないことがございますのでご注意ください。

〇来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

〇自然災害（地震、台風等）及び事故等が発生した場合や避難所開設等のため、研修を実施しない、または変更する場合があります。その場合には、開講当日の午前８時３０分までに、障害福祉情報サービスかながわ（http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/）及び社会福祉法人川崎市社会福祉協議会総合研修センターのホームページ（https://www.kensyu-c.jp/）にその旨を掲載いたしますので、ご確認ください。

１５．研修に関する問合せ先

（本研修の申込手続き・実施等に関する問合せ先）

■総合研修センター（指定管理者：（福）川崎市社会福祉協議会）

住　所：〒２１０－００２４　川崎市川崎区日進町５－１川崎市総合福祉センター２階

電　話：０４４－２２３－６５０９

ＦＡＸ：０４４－２２３－６５９８

担　当：鈴木　吉留

（本研修に関する問合せ先）

■川崎市健康福祉局　総合リハビリテーション推進センター　企画・連携推進課

住　所：〒２１０－００２４　川崎市川崎区日進町５－１川崎市総合福祉センター２階

電　話：０４４－２００－３１９７

ＦＡＸ：０４４－２００－３９７４

担　当：浦　一ノ関

（学則 別紙１－１）

講師一覧　（基礎研修）　交代制

担当科目		氏　名	現　　職	専任・兼任
講義	１．強度行動障害がある者の基本的理解			
	①　強度行動障害の理解	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任
		木村（きむら）　重之（しげゆき）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまた工房	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		二宮（にのみや）　瑠美（るみ）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
		北川（きたがわ）　恵（めぐみ）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		木村（きむら）　仙理（せんり）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
	２．強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識			
	②　研修の意義	木村（きむら）　重之（しげゆき）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまた工房	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		中村（なかむら）　泰斗（たいと）　氏	川崎市健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課	兼任
		大西（おおにし）　祐輔（ゆうすけ）　氏	川崎市健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課	兼任
		木村（きむら）　仙理（せんり）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
	③　支援のアイディア	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		二宮（にのみや）　瑠美（るみ）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
		赤津（あかつ）　公啓（きみひろ）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
	④　チームプレイの基本	鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任

講義		安齋(あんざい)　環(たまき)　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市柿生学園	兼任
		北川(きたがわ)　恵(めぐみ)　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		冨山(とみやま)　悦郎(えつろう)　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		片岡(かたおか)　健(たけし)　氏	社会福祉法人ともかわさき むぎの穂	兼任
		細渕(ほそぶち)　俊一(しゅんいち)　氏	社会福祉法人ともかわさき ちとせ	兼任
		松本(まつもと)　香菜子(かなこ)　氏	社会福祉法人育桜福祉会 しらかし園	兼任
	⑤　実践報告	佐野(さの)　良(りょう)　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任
		鈴木(すずき)　謙之(のりゆき)　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		赤津(あかつ)　公啓(きみひろ)　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
		二宮(にのみや)　瑠美(るみ)　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
		木村(きむら)　仙理(せんり)　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
		南湖(なんご)　浩一郎(こういちろう)　氏	社会福祉法人県央福祉会 児童発達支援センター　いっぽ	兼任
		横山(よこやま)　晴之(はるゆき)　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		浮貝(うきがい)　明典(あきのり)　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
		片岡(かたおか)　健(たけし)　氏	社会福祉法人ともかわさき むぎの穂	兼任
		細渕(ほそぶち)　俊一(しゅんいち)　氏	社会福祉法人ともかわさき ちとせ	兼任
		計良(けいら)　修平(しゅうへい)　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		犬塚(いぬづか)　渓介(けいすけ)　氏	株式会社 Kaien 教育事業部	兼任
		大澤(おおさわ)　舞子(まいこ)　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任

講義	⑤　実践報告	神崎（かんざき）　達也（たつや）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 小向このはな園	兼任
		岡（おか）　正記（まさき）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 夢花工房	兼任
		齋藤（さいとう）　文平（ぶんぺい）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設(通所)　つつじ工房	兼任
		都（しどみ）　広樹（ひろき）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市柿生学園	兼任
演習	１．基本的な情報収集と記録等の共有	鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		北川（きたがわ）　恵（めぐみ）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		浮貝（うきがい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
	２．行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		木村（きむら）　重之（しげゆき）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまた工房	兼任
		浮貝（うきがい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
		北川（きたがわ）　恵（めぐみ）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		木村（きむら）　仙理（せんり）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
	３．行動障害の背景にある特性の理解	鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		木村（きむら）　重之（しげゆき）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまた工房	兼任
		浮貝（うきがい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任

（学則 別紙１－２）

演習補助者一覧　（基礎研修）　交代制

担当科目		氏　名	現　　職	専任・兼任
演習演習	１．基本的な情報収集と記録等の共有 ２．行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解 ３．行動障害の背景にある特性の理解	鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		冨山（とみやま）　悦郎（えつろう）　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任
		内川（うちかわ）　銀也（ぎんや）　氏	社会福祉法人三篠会 川崎ラシクル	兼任
		安齋（あんざい）　環（たまき）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市　柿生学園	兼任
		北川（きたがわ）　恵（めぐみ）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		高杉（たかすぎ）　昌宏（まさひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 アトリエ聖風	兼任
		飯田（いいだ）　純一（じゅんいち）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
		木村（きむら）　仙理（せんり）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
		片岡（かたおか）　健（たけし）　氏	社会福祉法人ともかわさき むぎの穂	兼任
		細渕（ほそぶち）　俊一（しゅんいち）　氏	社会福祉法人ともかわさき ちとせ	兼任
		松本（まつもと）　香菜子（かなこ）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 しらかし園	兼任
		渡邉（わたなべ）　敏之（としゆき）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市　柿生学園	兼任
		松下（まつした）　千香（ちか）　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		計良（けいら）　修平（しゅうへい）　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		藤川（ふじかわ）　雅大（まさひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 かわさき地域生活支援拠点たじま	兼任
		岡（おか）　正記（まさき）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 夢花工房	兼任

	１．基本的な情報収集と記録等の共有 ２．行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解 ３．行動障害の背景にある特性の理解	金井（かない）　智裕（ともひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 かわさき地域生活支援拠点たじま	兼任
		蔀（しとみ）　広樹（ひろき）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市　柿生学園	兼任
		齋藤（さいとう）　文平（ぶんぺい）　氏	社会福祉法人セイワ障害者支援施設 つつじ工房	兼任
		犬塚（いぬづか）　渓介（けいすけ）　氏	株式会社 Kaien 教育事業部	兼任
		赤津（あかつ）　公啓（きみひろ）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
		神崎（かんざき）　達也（たつや）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 小向このはな園	兼任
		石戸（いしと）　久美子（くみこ）　氏	社会福祉法人ともかわさき かせやま	兼任

（学則 別紙２）

川崎市強度行動障害支援力向上研修（基礎研修）カリキュラム

1日目 9:15～17:00

プログラムNo	科目	開始	終了	min	内 容
受付		9:00	9:15		
開会		9:15	9:30	15	研修オリエンテーション
プログラム01		9:30	9:45	15	研修のねらい
プログラム1	講義1	9:45	10:30	45	強度行動障害の理解 「支援の基本的な考え方 強度行動障害の状態 行動障害が起きる理由」
		10:30	10:45	15	アイスブレイク・グループ内で自己紹介
休憩		10:45	10:55	10	
プログラム2	講義2	10:55	11:55	60	強度行動障害の理解「障害特性の理解」
昼休憩		11:55	12:55	60	
プログラム3	演習1	12:55	14:55	120	強度行動障害の理解「困っていることの体験」
休憩		14:55	15:05	10	
プログラム4	講義3	15:05	16:35	90	支援のアイディア「障害特性に基づいた支援」
プログラム02		16:35	16:55	20	グループで意見交換
		16:55	17:00	5	本日のまとめ

2日目 9:00～18:00

プログラムNo	科目	開始	終了	min	内 容
受付		8:50	9:00	10	
プログラム03		9:00	9:05	5	2日目のねらい
プログラム5	演習2	9:05	10:05	60	基本的な情報収集「行動を見る視点」
休憩		10:05	10:15	10	
プログラム6	演習3	10:15	11:45	90	特性の分析「特性の把握と適切な対応」
昼休憩		11:45	12:45	60	
プログラム7	講義4	12:45	13:45	60	チームプレイの基本「チームプレイの必要性」
休憩		13:45	13:55	10	
プログラム8	演習4	13:55	14:55	60	チームプレイの基本「支援手順書に基づく支援の体験」
休憩		14:55	15:05	10	
プログラム9	講義5	15:05	15:35	30	研修の意義①「行動障害」
		15:35	16:05	30	研修の意義②「虐待防止」
休憩		16:05	16:15	10	
プログラム10	講義6	16:15	16:45	30	実践報告①「児童期の支援の実際」
		16:45	17:15	30	実践報告②「成人期の支援の実際」
プログラム11	講義7	17:15	17:45	30	研修の意義「家族の気持ち」
閉会		17:45	18:00	15	修了証交付

※状況により変更する可能性があります。

（学則 別紙３）

川崎市強度行動障害支援力向上研修
（強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】）演習計画書

●演習について
・各演習におけるグループワークは１グループ最大８名とする。
・適切な進行や助言者として、各グループに補助者を１名配置し進行管理を行う。
・配置された補助者が講義などでグループを離れる際は、該当するグループの受講者に説明をしたうえで代理の補助者を配置し対応する。

●演習１「プログラム３　強度行動障害の理解　困っていることの体験」（１２０分）演習計画
【実施方法】

「プログラム２　強度行動障害の理解　障害特性の理解」の講義内容について演習で体験的に理解する流れで実施。演習講師の進行により、グループごとにアイスブレイクと４種類の疑似体験、振り返りの話し合い、代表グループによる発表で共有することで、自閉スペクトラム症児者の障害特性からくる困っている感覚を体験的に理解する演習とする。

科目　プログラム３	分		内容	分担	使用ツール
「強度行動障害の理解 困っていることの体験」	120	15	演習解説・アイスブレイク	講師	ワークシート 個人用Ａ４ グループ用Ａ３
		15	体験Ⅰ 伝えられないもどかしさ	講師 ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		15	体験Ⅱ 意味の分からない苦痛	講師 ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		15	体験Ⅲ 見通しの持てない不安や恐怖	講師 ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		15	体験Ⅳ 感覚の特異性	講師 ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		20	振り返り 個人ワーク・グループでの共有	ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		20	発表	ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ 代表受講者	
		5	まとめ	講師	

●演習２「プログラム５　基本的な情報収集　行動を見る視点」（６０分）演習計画
【実施方法】

事前説明ののち、映像教材を用いて映像にある事例「田中さんの外出場面」を視聴し、実際の支援場面を想起する。
「行動チェックシート（アセスメント演習用)」を用いて、映像から該当する行動項目にチェックを入れ、支援の中で支援対象者の示す行動に着目することを体験する。
社会性の特性・コミュニケーションの特性・想像力の特性・感覚の特性のそれぞれについて映像を部分的に繰り返し視聴し、講師の解説に合わせて一つ一つ繰り返し確認することで「行動に注目することの重要性」と「注目の仕方（視点)」の理解につなげる。

科目　プログラム５	分		内容	分担	使用ツール
「基本的な情報収集行動を見る視点」	60	5	演習説明	講師	・事例　田中さんの基本情報　資料 ・映像教材 DVD ・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄ（ｱｾｽﾒﾝﾄ演習用）
		10	事例概要説明・映像視聴	講師	
		10	社会性の特性に注目した行動観察 ・映像視聴・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		10	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの特性に注目した行動観察 ・映像視聴・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		10	想像力の特性に注目した行動観察 ・映像視聴・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		10	感覚の特性に注目した行動観察 ・映像視聴・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	まとめ	講師	

行動チェックシート（アセスメント演習用）はあらかじめチェックが入っているものを使用し、講師による手本を示しながらシートの活用方法を解説する。映像を視聴しながらチェックのついていない項目について受講者にもチェックしてもらう形で体験する。

●演習３「プログラム６　特性の分析　特性の把握と適切な対応」（９０分）演習計画
【実施方法】

講師の解説により、氷山モデルで考える考え方と氷山モデルシートおよび補助シート（行動チェックシート・特性確認シート・環境確認シート・強み確認シート）の関連性と使い方を理解する。
映像教材を用いて事例「田中さんの公園での水遊び場面」を視聴し、課題となる行動「水遊びを止められて自傷する」行動について氷山モデルシートおよび補助シートを使用して特性の分析を個人ワークで体験する。
氷山モデルシートおよび補助シートを活用し、特性に合わせた適切な支援方法を導き出す体験をし、実際の支

援場面での活用イメージを作る。

グループワークで共有し、チームで検討する有効性に気づく。

<table>
<tr><th>科目　プログラム６</th><th colspan="3">分</th><th>内容</th><th>分担</th><th>使用ツール</th></tr>
<tr><td rowspan="18">「特性の分析特性の把握と適切な対応」</td><td rowspan="18">90</td><td colspan="2">5</td><td>演習全体の説明</td><td>講師</td><td rowspan="7">・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄ
（氷山演習用）
・氷山ﾓﾃﾞﾙｼｰﾄ
（A4 個人）
・特性確認ｼｰﾄ
（氷山演習用）
・環境確認ｼｰﾄ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">35</td><td>15</td><td>演習の説明
映像視聴</td><td>講師</td></tr>
<tr><td>10</td><td>個人ワーク
着目した行動「水遊びを止められて自傷をする」に対し、水遊びを止められない理由や止められて自傷する理由を特性から考える</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td>4</td><td>演習の説明
氷山モデル「特性」の記入
環境のアセスメントについて補助シートを手がかりに解説</td><td>講師</td></tr>
<tr><td>5</td><td>個人ワーク
「水遊びを止められて自傷する」場面の環境要因について確認</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>まとめ</td><td>講師</td></tr>
<tr><td rowspan="6">45</td><td>5</td><td>演習の説明</td><td>講師</td><td></td></tr>
<tr><td>5</td><td>個人ワーク
「特性確認シートの支援のアイデア」を使用して事例田中さんの特性に活用できそうな支援のアイデアを検討</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td><td rowspan="5">・特性確認ｼｰﾄ
（氷山演習用）
・強み（ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ）確認ｼｰﾄ
・氷山ﾓﾃﾞﾙｼｰﾄ
（ｸﾞﾙｰﾌﾟ用 A3）</td></tr>
<tr><td>10</td><td>グループワーク
個人で検討した内容の共有しグループで支援のアイデアを考える</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td>5</td><td>演習の説明</td><td>講師</td></tr>
<tr><td>5</td><td>個人ワーク
「強み（ストレングス）確認シート」を使用し、活かせそうな強みに気づく</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td>10</td><td>グループワーク
個人で検討した内容の共有しグループで活かせそうな強みを考え、氷山モデルシートを完成する</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td>5</td><td>まとめ
動画視聴</td><td>講師</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">5</td><td>演習全体のまとめ</td><td>講師</td><td></td></tr>
</table>

●演習４「プログラム８チームプレイの基本支援手順書に基づく支援の体験」（６０分)演習計画
【実施方法】

外出場面での支援手順書と記録の様式を用い、事例「田中さん」の外出場面をロールプレイで体験する。
演習３「プログラム６」で検討された田中さんの行動と背景の特性・支援のアイデアを根拠に作成された支援手順書に基づく支援の実際について学ぶ。
支援の様子を的確に記録し、次につながる支援記録を残すことを学ぶ。
支援の同じ質を担保しながらさらに良い支援を組み立てていくための職場内連携を学ぶ。
支援手順書や環境調整（構造化）のアイデアやわかりやすい手がかりの使い方を体験する。

<table>
<tr><th>科目　プログラム８</th><th colspan="3">分</th><th>内容</th><th>分担</th><th>使用ツール</th></tr>
<tr><td rowspan="8">「チームプレイの基本支援手順書に基づく支援の体験」</td><td rowspan="8">60</td><td colspan="2">15</td><td>演習説明
ロールプレイの解説と配役の流れを理解する
活用する活動カード等のグッズを紹介する
支援手順書を確認する</td><td>講師</td><td rowspan="8">・外出の支援手順書（A4）
・ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾁｪｯｸｼｰﾄ
・活動ｶｰﾄﾞ
（公園、お茶、ごはん、家に帰る）
・ｽｹｼﾞｭｰﾙ台紙
・タイマー
・お茶
（ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ）
・かばん
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会場表示用ﾌﾟﾚｰﾄ(A4)
・家（GH）
・ﾌﾞﾗﾝｺ
・水道
・ﾍﾞﾝﾁ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ用振返ｼｰﾄ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">25</td><td>3</td><td>資料読み込み</td><td>講師</td></tr>
<tr><td>2</td><td>デモンストレーション</td><td>ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td>20</td><td>ロールプレイ
支援手順書に基づきグループホームから公園に移動し、ベンチでお茶を飲むまでのルートを想定し、研修のグループテーブルを 3/4 周回る形で外出支援を行う
途中、ブランコに立ち寄り、水道の水遊びをする場面を支援手順書通り支援することで円滑に回る</td><td>田中さん役：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ
支援者役：受講者
観察者役：受講者
全ての受講者が支援者役を交代で体験する</td></tr>
<tr><td colspan="2">5</td><td>グループワーク説明</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">10</td><td>振り返り
体験した感想を振り返り、支援手順書に基づく支援や記録について意見を交換する</td><td>進行　記録
ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ</td></tr>
<tr><td colspan="2">5</td><td>発表
他のグループの意見を聞き、学びを共有する</td><td>講師</td></tr>
</table>

（学則 別紙４－１）

講師一覧　（実践研修）　交代制

担当科目		氏　名	現　　職	専任・兼任
講義	１強度行動障害がある者へのチーム支援			
	①支援を組み立てるための基本	鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
	②組織的なアプローチ	柴田（しばた）　志穂理（しほり）　氏	川崎市総合リハビリテーション推進センター 南部地域支援室	兼任
		吉田（よしだ）　有紀子（ゆきこ）　氏	川崎市総合リハビリテーション推進センター 中部地域支援室	兼任
		敷野（しきの）　めぐみ　氏	川崎市総合リハビリテーション推進センター 北部地域支援室	兼任
	２強度行動障害と生活の組み立て			
	③実践報告	浮貝（うきかい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
		高杉（たかすぎ）　昌宏（まさひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 アトリエ聖風	兼任
		藤川（ふじかわ）　雅大（まさひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 かわさき地域生活支援拠点たじま	兼任
		田中（たなか）　正美（まさみ）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 くさぶえの家	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		冨山（とみやま）　悦郎（えつろう）　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
演習	１障害特性の理解とアセスメント ①アセスメントの方法	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人事務局	兼任
		浮貝（うきかい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
		北川（きたがわ）　恵（めぐみ）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		二宮（にのみや）　瑠美（るみ）　氏	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス	兼任
	２環境調整による強度行動障害の支援	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人事務局	兼任

	②手順書の作成	浮貝（うきかい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
	３記録に基づく支援の評価 ③記録の分析と支援手順書の修正	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人事務局	兼任
		浮貝（うきかい）　明典（あきのり）　氏	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト	兼任
	４危険対応と虐待防止 ④関係機関との連携	野崎（のざき）　秀次（ひでつぐ）　氏	社会福祉法人同愛会法人本部医療顧問	専任

（学則 別紙４－２）

演習補助者一覧　（実践研修）　交代制

担当科目		氏　名	現　　職	専任・兼任
演習演習	１障害特性の理解とアセスメント ２環境調整による強度行動障害の支援 ３記録に基づく支援の評価 ４危険対応と虐待防止	佐野（さの）　良（りょう）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 法人本部事務局	兼任
		鈴木（すずき）　謙之（のりゆき）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 あかしあ園	兼任
		北川（きたがわ）　恵（めぐみ）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 相談支援センタードリーム	兼任
		安齋（あんざい）　環（たまき）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市　柿生学園	兼任
		飯田（いいだ）　純一（じゅんいち）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
		高杉（たかすぎ）　昌宏（まさひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 アトリエ聖風	兼任
		冨山（とみやま）　悦郎（えつろう）　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		内川（うちかわ）　銀也（ぎんや）　氏	社会福祉法人三篠会 川崎ラシクル	兼任
		木村（きむら）　仙理（せんり）　氏	社会福祉法人セイワ 障害者支援施設（入所）つばき寮	兼任
		片岡（かたおか）　健（たけし）　氏	社会福祉法人ともかわさき むぎの穂	兼任
		細渕（ほそぶち）　俊一（しゅんいち）　氏	社会福祉法人ともかわさき ちとせ	兼任
		藤川（ふじかわ）　雅大（まさひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 かわさき地域生活支援拠点たじま	兼任
		計良（けいら）　修平（しゅうへい）　氏	社会福祉法人三篠会 障害者支援施設みずさわ	兼任
		岡（おか）　正記（まさき）　氏	社会福祉法人なごみ福祉会 夢花工房	兼任
		金井（かない）　智裕（ともひろ）　氏	社会福祉法人川崎聖風福祉会 かわさき地域生活支援拠点たじま	兼任
		蔀（しどみ）　広樹（ひろき）　氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市　柿生学園	兼任
		齋藤（さいとう）　文平（ぶんぺい）　氏	社会福祉法人セイワ障害者支援施設 つつじ工房	兼任

	１障害特性の理解とアセスメント ２環境調整による強度行動障害の支援 ３記録に基づく支援の評価 ４危険対応と虐待防止	田中（たなか）　正美（まさみ）氏	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 くさぶえの家	兼任
		神崎（かんざき）　達也（たつや）　氏	社会福祉法人育桜福祉会 小向このはな園	兼任
		松本（まつもと）　香菜子（かなこ）氏	社会福祉法人育桜福祉会 しらかし園	兼任
		石戸（いしと）　久美子（くみこ）氏	社会福祉法人ともかわさき かせやま	兼任

川崎市強度行動障害支援力向上研修 (実践研修)カリキュラム

1日目 9:15～17:30

プログラムNo	科目	開始	終了	min	内 容
受付		9:00	9:15		
開会		9:15	9:30	15	研修オリエンテーション
プログラム01		9:30	9:50	20	研修のねらい
プログラム1	講義1	9:50	11:50	120	支援を組み立てるための基本「強度行動障害の支援に必要な知識」
昼休憩		11:50	12:50	60	
プログラム2	演習1	12:50	13:50	60	アセスメントの方法「具体的なアセスメントの方法」
休憩		13:50	14:00	10	
プログラム3	演習2	14:00	16:00	120	アセスメントの方法「障害特性に基づくアセスメント」
休憩		16:00	16:10	10	
プログラム4	演習3	16:10	17:10	60	手順書の作成「アセスメントに基づく支援手順書の作成（1）」
プログラム02		17:10	17:25	15	グループで意見交換
		17:25	17:30	5	本日のまとめ 翌日ガイダンス

2日目 9:00～17:30

プログラムNo	科目	開始	終了	min	内 容
受付		8:50	9:00	10	
プログラム03		9:00	9:05	5	2日目のねらい
プログラム5	演習4	9:05	11:05	120	手順書の作成「アセスメントに基づく支援手順の作成（2）」
休憩		11:05	11:15	10	
プログラム6	演習5	11:15	12:45	90	記録の分析と支援手順書の修正「記録の方法・記録の分析と支援手順書の修正」
昼休憩		12:45	13:45	60	
プログラム7	講義2	13:45	14:45	60	組織的なアプローチ「組織的なアプローチの重要性」
プログラム8	講義3	14:45	15:15	30	実践報告
休憩		15:15	15:25	10	
プログラム9	演習6	15:25	16:55	90	関係機関との連携「関係機関（医療機関等）との連携の方法」
プログラム10	演習7	16:55	17:15	20	研修全体の振り返り
閉会		17:15	17:30	15	修了証交付

※ 状況により変更する可能性があります。

（学則　別紙６）

川崎市強度行動障害支援力向上研修
（強度行動障害支援者養成研修【実践研修】）演習計画書

●演習について

・各演習におけるグループワークは１グループ最大８名とする。
・適切な進行や助言者として、各グループに補助者を１名配置し進行管理を行う。
・配置された補助者が講義などでグループを離れる際は、該当するグループの受講者に説明をしたうえで代理の補助者を配置し対応する。

●演習１「プログラム２　アセスメントの方法具体的なアセスメントの方法」（60 分）演習計画
【実施方法】

支援者が統一した支援を実施するために必要な、障害特性に合わせた支援手順書を作成するための根拠となるアセスメントの方法について学ぶ。
アセスメントに活用する各様式の説明ののち、映像教材を用いて映像にある事例「田中さんの活動場面」を視聴し実際の支援場面を想起する。
「行動チェックシート」を用いて。映像から該当する行動項目にチェックを入れ、その行動を客観的に記録していく。

科目　プログラム２	分		内容	分担	使用ツール
アセスメント方法 ・具体的なアセスメントの方法	60	10	演習説明	講師	・事例 田中さんの 基本情報資料 ・映像教材 DVD ・行動チェックシート
		10	事例概要説明・映像視聴	講師	
		8	社会性の特性に注目した行動観察・映像視聴・行動チェックシートへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		8	コミュニケーションの特性に注目した行動観察・映像視聴・行動チェックシートへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		8	想像力の特性に注目した行動観察・映像視聴・行動チェックシートへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		8	感覚の特性に注目した行動観察・映像視聴・行動チェックシートへの記入	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		8	演習まとめ	講師	

●演習２「プログラム３　アセスメントの方法障害特性に基づくアセスメント」（120 分）演習計画
【実施方法】

講師の解説により、氷山モデルで要因分析を行う考え方と氷山モデルシートおよび補助シートの関連性と使い方を理解する。映像教材を用いて事例「田中さんが作業中に自傷をする」を視聴して特性に合わせた適切な支援方法を導き出す体験をする。
演習を通して支援の根拠を明らかにし、経験則に偏った感覚的な支援ではなく本人の行動観察（事例）から障害特性を導き出し、ミスマッチとなる環境・状況を整理していく。また、具体的な支援を検討していく上で本人の強み(ストレングス)を活かしていく視点についても演習を通して学んでいく。
グループワークで共有し、チームで検討する有効性に気づく。

科目　プログラム３	分		内容	分担	使用ツール
アセスメント方法 ・障害特性に基づくアセスメント	120	10	氷山モデルシートと補助シートの説明	講師	・事例 田中さんの基本情報資料 ・映像教材 DVD ・行動チェックシート
		10	課題となる行動の確認	講師	
		7	個人ワーク　作業中に自傷するという行動と関連する特性をピックアップしていく ・社会性の特性	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		7	個人ワーク　作業中に自傷するという行動と関連する特性をピックアップしていく ・コミュニケーションの特性	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		7	個人ワーク　作業中に自傷するという行動と関連する特性をピックアップしていく ・想像力の特性	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		7	個人ワーク　作業中に自傷するという行動と関連する特性をピックアップしていく ・感覚の特性	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		10	グループワーク　個人ワークで整理したものをグループで共有	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	記入例を用いての解説	講師	
		5	行動に影響を与えている環境や状況を整理	講師	
		5	個人ワーク　環境補助シートで「作業中に自傷する」時の環境や状況を書き出す	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	グループワーク　個人ワークで整理したものをグループで共有	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	支援のアイディアを整理する　個人ワーク「特性シート」から特性に対する支援のアイディアをピックアップする	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	

		5	支援のアイディアを整理する グループワーク 個人ワークで整理したものをグループで共有	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		7	強み（ストレングス）とは	講師	
		5	強みを活かせそうな場面の検討　個人ワーク	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	強みを活かせそうな場面の検討　グループワーク　個人ワークで整理したものをグループで共有	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		10	発表記入した氷山モデルシートの内容を発表	進行：講師	
		5	まとめ	講師	

●演習３「プログラム４　支援手順書の作成アセスメントに基づく支援手順書の作成（１）」(60 分)
演習計画
【実施方法】

支援者が統一した支援を実施するために必要な障害特性に合わせた支援手順書の作成方法について学ぶ。利用者のサービス提供プロセスにおいて、サービス等利用計画・個別支援計画・支援手順書、それぞれの連動性について学び深めていく。
演習２で整理した氷山モデルシートを用いて、活動の手順を作り上げる。その際、活動の工程を分けるという視点を重視する。

科目　プログラム４	分		内容	分担	使用ツール
手順書の作成 ・アセスメントに基づく支援手順書の作成(1)	60	25	各種支援計画と支援手順書のつながり	講師	・事例 田中さんの 基本情報資料 ・映像教材 DVD ・氷山ﾓﾃﾞﾙｼｰﾄ ・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄ ・特性確認ｼｰﾄ ・環境確認ｼｰﾄ ・強み確認ｼｰﾄ ・支援のｱｲﾃﾞｨｱ ・支援手順書、記録用紙
		10	個人ワーク　活動の工程を考える	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		20	グループワーク　田中さんの作業場面での工程を共有する	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	まとめ	講師	

●演習４「プログラム５支援手順書の作成アセスメントに基づく支援手順書の作成（２）」（120 分）
演習計画
【実施方法】

支援者が統一した支援を実施するために必要な障害特性に合わせた支援手順書の作成方法について学ぶ。活動の流れや工程に分け、工程ごとに本人の動きを想定する。支援を行う際には事前準備が重要であり、あらかじめの環境設定や支援ツール等の準備についても支援手順書に記入していく。

科目　プログラム５	分		内容	分担	使用ツール
手順書の作成 ・アセスメントに基づく支援手順書の作成（２）	120	10	個人ワーク　工程ごとに本人の動きを想定し、支援手順書に記入する	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	・事例 田中さんの 基本情報資料 ・映像教材 DVD ・氷山ﾓﾃﾞﾙｼｰﾄ ・行動ﾁｪｯｸｼｰﾄ ・特性確認ｼｰﾄ ・環境確認ｼｰﾄ ・強み確認ｼｰﾄ ・支援のｱｲﾃﾞｨｱ ・支援手順書、記録用紙
		15	グループワーク場面ごとの想定される本人の動きをグループで共有し活動の手順を決める	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		20	個人ワーク　必要なサポートを根拠に、当日までの準備・支援者の動きや配慮・当日の事前準備を記入する	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		40	グループワーク　必要なサポートを根拠に、当日までの準備・支援者の動きや配慮・当日の事前準備についてグループで共有する	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		20	発表　完成した支援手順書の発表	講師	
		15	まとめ	講師	

●演習５「プログラム６　支援手順書の作成　記録の分析と支援手順書の修正」（90 分）演習計画
【実施方法】

本人の障害特性に基づく支援手順書を作成し、手順書に基づいて支援を行い、記録をとっていく。実際には、本人の障害特性に基づいた支援手順書を作成し運用していく中で支援の補正や補強が必要となる場面も出てくることが想定される。記録を根拠にし、どの部分に修正が必要となるか、そのプロセス（PDCA）と修正手順を学ぶ。

科目　プログラム６	分		内容	分担	使用ツール
記録の分析と支援手順書の修正 ・記録の方法 ・記録の分析と支援手順書の修正	90	10	個人ワーク　工程ごとに本人の動きを想定し、支援手順書に記入する	講師	・事例 田中さんの 基本情報資料 ・映像教材 DVD ・支援手順書 /記録用紙 ・支援手順書 /修正用
		5	個人ワーク　動画を見て、支援手順書の「本人の様子」の欄に客観的事実を記録する	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		15	グループワーク　支援手順書の記録の共有をグループワークで行う	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		15	スキルの評価　動画視聴と解説	講師	
		20	グループワーク　支援手順書の記録の共有をグループで行う	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		10	発表　支援手順書の修正内容を発表	講師	
		5	動画視聴　修正後の様子	講師	
		10	まとめ	講師	

●演習６「プログラム９　関係機関との連携関係機関（医療機関）との連携の方法」（20 分）演習計画
【実施方法】

強度行動障害の状態像にある方を支援していく上では、医療機関等との連携・協力が必須となる。役割の違いを理解しながら相互に自分たちの専門性を活かし適切な支援を行っていく上で、どうような工夫が必要となるのかを考える。

科目　プログラム９	分		内容	分担	使用ツール
関係機関との連携 ・関係機関（医療機関等）との連携の方法	20	5	講師自己紹介　グループワークのポイント説明	全体司会	・医療機関の連携を考える（グループワークシート）
		10	グループワーク　「医療等との連携を図る上で工夫していること」「連携が難しいと感じること」についてグループ内で意見を出し合う	進行：講師 ｸﾞﾙｰﾌﾟ進行：ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ	
		5	発表	全体司会	

●演習７「プログラム１０　研修全体の振り返り」（20 分）演習計画
【実施方法】

強度行動障害支援力向上研修（基礎・実践）を受講し、明日からの現場実践につなげていくための受講者同士の意見交流の時間とする。ファシリテーターも適宜介入し、支援の PDCA や氷山モデルシート、各種記録の工夫や重要性等について振り返る。

科目　プログラム 10	分	内容	分担	使用ツール
研修全体の振り返り	20	グループワーク　強度行動障害支援力向上研修（基礎・実践）を統括し、現場実践につなげていくための受講者同士の意見交流の時間とする	ファシリテーター	